

マルコさん(手前)が作るバルーンに笑顔を見せる生津さん

重い障害 高2の生津さん

笑顔輝く自宅の終業式

骨の発育障害から、寝たきりの生活を送る久留米市立久留米特別支援学校高等部2年、生津輝光さん(17)が、久留米市北野町の自宅で2学期の終業式を迎えた。式には、福岡市のNPO法人「博多笑い塾」理事でバルーンアーティストのマルコさんが駆けつけ、色とりどりの風船を使った技で生津さんを楽しませた。

(関屋洋平)



バルーンアーティスト マルコさん駆け付ける

生津さんは先天性の「軟骨異形成症」。ベッド上では体を右側に向けたまま動かすことができない。小学2年の時、合併症で気管切開してからは人工呼吸器を離せなくなった。同校は週3回、生津さんに対し訪問授業を実施。終業式などの行事も自宅で行っている。松本良一校長らは26日、生津さんに2学期の通知表を手渡すなどした。

マルコさんの訪問は、母の瑞枝さん(43)と祖母の松下映子さん(70)が「テルくんを笑顔にしたい」と同塾に依頼し、実現した。

「大好きなもので一杯にしようね」。丸い赤鼻のピエロにふんしたマルコさんは枕元で優しく語りかけながら、赤や黄色の風船を組み立てていく。大好きなアニメのキャラクターなどが次々にでき上がり、生津さんは「楽しかった」と笑顔を見せた。

瑞枝さんは「最高のプレゼントになりました」と喜んだ。松下さんは「愛情をいっぱいもらいました。ほ

知照	8	知照	知照	知照
知照	8	知照	知照	知照
知照	1	知照	知照	知照
知照	9	知照	知照	知照
知照	2	知照	知照	知照
知照	4	知照	知照	知照
知照	3	知照	知照	知照
知照	5	知照	知照	知照
知照	1	知照	知照	知照
知照	NO	知照	知照	知照

かの障害のある子やその家族にも、こんな機会があるた。

久留米市立久留米特別支援学校高等部2年 生津輝光さん(17)が、久留米市北野町の自宅で2学期の終業式を迎えた。